
ドッペルゲンガー

S T A R ジョーカー

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ドッペルゲンガー

【NZコード】

N3746C

【作者名】

STAR ジョーカー

【あらすじ】

もうひとりの自分を見てしまったら・・・

「ドッペルゲンガー」

彼女はパソコンを覗き込んでいた

「何見てるの？またろくでもないサイトみてるんでしょ？」「

「オカルトサイトだよ暇つぶしだよ、暇つぶし」

彼女は意地悪な表情をつかながらさりに邪魔してきた・・・いつものことだ

「こんなのに信じてるわけ？・・・何？ドッペルゲンガーッテ」

俺は説明させんぐらいなら自分で見ろ！と内心思つたが

少し怖がらせてやろうと思つた

「簡単に言つと、もうひとりの自分、分身、幽体離脱、生靈みたいなものかな

それを見ると、見た人は死んだりする怖い現象だよ・・・

歴史上の人物も見てるひと多いんだよ・・・芥川龍之介とか・・・怖いだろ～

「ははははー面白いホントに信じてるわけ？・・・子供ね～あなた

「まったく説明すればこれだよ・・・だから言いたくなかったんだ」

「だいたいそんなの他人の空似つてやつじやないの・・自分に似た人なんか

けつこういるもんよ・・芸能人だってそつくりさんいつぱいいる
じゃない」

だいたい彼女はいつもこういつ反応しかしない、きわめて現実的な
女だ

ファンタジーというものがわかつていな

結婚しているわけでもないのに、付き合い始めてすぐ半同棲状態だ

おれの楽しみを邪魔しては喜んでいる

最近うんざりしている

「ねえ！そんなもの見てないで、買い物に行こうーおいしいもの食
べたいなー」

始まつた・・・いつものお決まりコース

おれの趣味を小ばかにして、テンションが上がったところで

自分勝手な買い物と食事・・・もちろん俺の金で・・・

それから俺たちは、駅前通りをぶらぶらと散策していた

買い物を済ませ、どこか食事をしようとした物色しているときだった

急に彼女が足を止めた

「ね、ねえ！ほら！あの人あなたにそっくり、いやあなたの分身みたい！　ねえ見て！」

俺は心臓の鼓動が高鳴り、彼女が指差す人物を一瞬見よっとしたが

わきほどどのドッペルゲンガーの件が

あたまをよぎりその場から駆け出していくた・・・

案の定、彼女はさんざんに怒って帰ってきた

両手には、今日の買い物と、夕食のお弁当を抱えて

それから例の「とく、俺に対する非難がはじまつたが

俺はじっと耐えた

（なんと言われてもいい、命あつてのものだねだ・・・）

入浴を済ませて、缶ビールを片手にリビングへ入ると

彼女がパソコンの前に座っている・・珍しいこともあるものだ

「ねえこれ見て、あなたにそっくりでしょう、頭にきたからお願ひして写メしちゃつた」

そこには・・まさしく俺が写っていた・・・正確に言つと

俺の持つていない服を着た・・・別人の俺だ・・・

俺は気が遠くなりそうだった・・・

三日後の朝

俺はまだ生きていたが

すやすやと寝息をたてる彼女のとなりで

朝刊を持ったまま恐怖で固まっていた

三面記事には、俺ではない別人の俺が通り魔によつて・・故人となつていた

ドッペルゲンガーは・・・俺の方だった

彼はあのとき、見てしまったのだ・・・俺を・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3746c/>

ドッペルゲンガー

2010年11月6日01時35分発行